

〔国際会議発表〕

発表研究者	山形大学大学院理工学研究科 博士課程 梅本 和輝	2182102
参加会議	2018 MRS Fall Meeting	
開催場所	Boston・USA	
出張期間	2018 年 11 月 24 日～12 月 1 日	
発表論文	Nanocrystallization and Optical Characterization of $\text{CH}_3\text{NH}_3\text{PbBr}_3$ Perovskite via Ostwald ripening オストワルド熟成による $\text{CH}_3\text{NH}_3\text{PbBr}_3$ ペロブスカイトのナノ結晶化と光学特性	

概要：

本会議による発表により、次世代発光源として期待されるペロブスカイトナノ結晶の独自開発したナノ結晶化技術を国際・学際的に周知させ、本技術の発展と世界各国の研究機関・企業・研究者との連携を目的とした。

本会議（Materials Research Society Fall Meeting）は、化学などの工学分野における材料研究の進展による人間生活の向上を使命に、全 50 種類の研究分野、250 以上の企業の参加、会員研究者 14,000 人以上が参加・研究発表を行う世界最大規模の材料系の国際学会である。近年、本会議の研究発表の中でも太陽電池、発光ダイオード、レーザー等の種々の光学素子への応用展開が期待される「ペロブスカイト」に関する研究発表が数多く、当該分野の注目度は特に著しい。そのため、情報収集・意見交換・技術交流・発表による申請者等が開発した独自技術を最大限波及させることができるため、本技術の学際的な発展において極めて有意義である。

申請者自身の研究発表では、多様な国籍（アメリカ・ヨーロッパ・インド等）および様々な研究機関（imec など）や専門分野の異なる研究者（太陽電池・センサー等）とディスカッションできる機会に数多く恵まれた。特に、専門分野の異なる研究者との意見交換において、ペロブスカイトのセンサーへの新規応用の可能性について、ディスカッションできたことは、思わぬ成果であった。また、企業研究者の方からも貴重な意見を頂き、本技術の産業的ニーズも現場感覚で感じる事ができた。

国際会議は、研究者自身が開発した技術について、各国の研究者の方々と直接コミュニケーションをとり技術交流できる絶好の機会であり、今後の研究活動に繋げたい。